

聚楽保育所における保護者説明会の概要

- 1 日 時 令和元年7月8日（月）午後7時から午後9時10分頃まで
- 2 場 所 聚楽保育所 ホール
- 3 出席者 幼保総合支援室 公営保育所業務推進課長，保育内容向上課長，担当係長
保育所 所長ほか
保護者 19世帯 20名
- 4 配付資料 令和元年度第1回市営保育所移管先選定部会資料一式

5 説明会の概要

(1) 京都市の説明

今後のスケジュール及び募集要項案の内容について説明

(2) 質疑応答の概要

項目	保護者	市
民間移管の根拠		
	今回の民間移管については、市営保育所のあり方に関する基本方針（改定版）に基づく再公募なのか、全く新しい計画に基づくものなのか、どちらか。	市営保育所のあり方に関する基本方針（改定版）に基づく民間移管であると考えている。
民間移管の効果等		
	民間移管によって、どれだけの効果があったのか、あるいはどういったサービスの向上やメリットがあったのか、また、一部問題も出てきたということなどはないのか。	京都市にとっては、民間移管による財政効果が一定あり、新たな施策の財源として充当してきた。 移管後の個別の園の状況として、施設改善がスムーズであったり、おむつの処分を園負担に変更したりといった良い面がある一方、保育士から保護者への声かけが変わったという意見や、子どもの1日の様子について担任に聞きにくくなったといった意見もある。
事後評価		
	サービスがどの程度向上したのかという評価はあるか。 第三者評価がそれに当たるのか。	評価ではなく、保護者からの御意見としては聞いている。 第三者評価については、サービス向上という観点で実施するものではない。
	一般的に民間移管する場合、京都市として事後評価するものではないのか。	京都市の施策としては、事務事業評価という事業そのものの評価があるが、1件ごとの民営化を評価する制度はない。
第三者評価		
	過去に移管した保育所における移管前後の第三者評価の結果を見たい。 現在、京都市のホームページでは、市営保育所において受審した結果が閲覧できない状態である。	第三者評価の評価機関のホームページにおいて、移管前後の評価結果を閲覧していただくことができる。 本市のホームページの状況については、確認のうえ、閲覧できるようにする。

項目	保護者	市
第三者評価		
	<p>聚楽保育所においては、平成25年度に第三者評価を受審しているが、移管前に再度受審しておくべきではないか。</p>	<p>来年度の受審について検討する。</p>
申請資格		
	<p>乳児保育経験のない法人に申請資格があるのはおかしい。</p> <p>申請資格として、運営経験年数も入れて欲しい。</p>	<p>これまで、1歳半までの保育を経験されていない法人に移管した実績があるが、引継ぎや移管後の保育運営において、課題はなかった。</p>
移管後の運営に係る基本事項		
	<p>現状の条件で市営保育所の保育を引き継げるかという点、正直不安が多い。</p>	<p>一定の条件としては問題ないと思っている。実際の引継ぎにおいて、人と人のやり取りが一番重要にはなってくると思っている。</p>
	<p>保育士の条件について、5年以上経験のある方が1/3以上となっており、現状の条件では、半分以上が新卒の保育士でも問題ないことになってしまう。1/2にするなり2/3にするなり条件を上げて欲しい。</p>	<p>条件としては、そのとおりであるが、実際の園運営において、新卒ばかりでは運営が困難なので、経験のある保育士を確保していただくことになる。細かな条件については、今後検討することとなる。</p>
	<p>乳児保育経験年数の具体的な記載がない。</p> <p>キャリアアップ研修の乳児保育の分野の修了を条件にしてはどうか。</p> <p>主任保育士に関する規定がない。主任保育士や施設長については、国基準や京都市の平均で考えても20年ぐらいの保育経験が必要。</p>	<p>経験年数やキャリアアップ研修等の記載については、今後検討することとなる。</p>
児童館		
	<p>児童館については、意見を聞いてもらえないのか。</p>	<p>保護者アンケートに記載していただければ、回答する。</p>
その他		
	<p>本日の意見や保護者アンケートで提出する意見について、どの程度反映してもらえるのか。</p> <p>保育所の雰囲気が変わり、知らない先生が増えると、保護者も子どもも不安になる。不安を取り除く努力やアフターフォローを約束して欲しい。</p>	<p>反映できるかどうかは意見の内容によるが、提出していただいた意見については、第2回選定部会において紹介する。</p> <p>移管後も、元クラス担任が残り、保育の引継ぎを行う。保護者の思いに応えるために御意見を伺いながら進めていきたい。</p>